

世界の若者たちに、コッポラが贈る
《理由なき反抗》の熱いメッセージ

*俺たちは
もう振りかえない。

ランブルフィッシュ

監督・脚本・製作総指揮 フランシス・コッポラ

rumble
FISH

マット・ディロン ◆ ミッキー・ロック ◆ ダイアン・レイン ◆ デニス・ホッパー

製作 フレッド・ルース/ダグ・クレイボーン ◆ 脚本 S・E・ヒントン フランシス・コッポラ ◆ 原作 S・E・ヒントン (集英社コバルトシリーズ刊) ◆ 撮影 スティーブン・H・バラム ◆ 音楽 スチュワート・コーブランド (ワンダラ製 アルファレコード) ユニヴァーサル映画 配給 ©C配給

ヤング必見! 待望の「アウトサイダー」 姉妹篇遂に登場

S・E・ヒントン原作によるYA小説のベストセラー「ランブルフィッシュ」が、「アウトサイダー」に続いて映画化された。主演はYAスター№1のマット・ティロンとダイアン・レインという豪華な組み合わせ。マットはこの作品にそなえて髪を切り、ピアスまでする熱演。また、ダイアンもグッとお色気をまして大人の雰囲気迫るほか、「フットルース」で人気急上昇中のクストファー・ベンなどが共演している。監督は「ゴッド・ファザー」「アウトサイダー」の巨匠フランシス・コッポラ。ファンにとっては見逃せない作品だ。



乱闘、麻薬、SEX、 傷つけ合う若者たちの 青春はいま

オチコボレのツツパリ高校生「ラスティ」ジェームズ(マット・ティロン)には一人の兄がいた。ケンカが強い上に頭もキれる。そんな兄に対して強い憧れを持っている彼は、自分の青春の証を、ケンカに求めた。その度に傷つき、血を流す「ラスティ」ジェームズは次第に恋人やグループの仲間たちから見離されてゆく……。

兄弟、恋人、グループ、そして学校。現代のヤングたちがかかえる悩みや不安を鮮烈に描いたニューウェイブな青春映画だ。



ランブル フィッシュ Rumble Fish

ユニヴァーサル映画 C・C配給



あの「ビート・イット」を 思わせる エキサイティングな ファイト・シーン

さびれた駅の構内で、「ラスティ」ジェームズ率いるグループと、敵対するピフのグループが繰り広げるファイト・シーンは、胸がドキドキするほど凄い迫力だ。まるでマイケル・ジャクソンの「ビート・イット」をスケールアップしたようなこのシーンの振り付けは、「ソフィスティケートド・レディ」のディレクター、マイケル・スムーインというからナットク。

音楽を担当しているのが「ポリス」のドラマー、スチュワート・コーブランド。プリティッシュ・レゲエのサウンドは音楽ファンにも注目だ。

●スタッフ●

監督……………フランシス・コッポラ
脚本……………S・E・ヒントン
"……………フランシス・コッポラ
製作……………フレッド・ルース
"……………ダグ・クレイボーン
撮影……………スティーブ・H・バラム
製作デザイン……………ディーン・タブラリス
編集……………バリー・モルキン
製作総指揮……………フランシス・コッポラ
音楽……………スチュワート・コーブランド
(サントラ盤/アルファ・レコード)
原作……………S・E・ヒントン
(集英社コバルトシリーズ刊)

●キャスト●

「ラスティ」ジェームズ……………マット・ティロン
バイク・ボーイ……………ミッキー・ローク
パティ……………ダイアン・レイン
父……………デニス・ホッパー
スティーブ……………ビンセント・スパーノ
カサンドラ……………ダイアナ・スカウウィド
スモーキー……………ニコラス・ケイジ
B. J.……………クリストファー・ペン
パターソン……………ウィリアム・スミス
ピフ……………グレン・ウィスロー
ベニー……………トム・ウェイツ

次回ロードショー!

※労音ご鑑賞券¥1,100(会員に限り)発売中!

丸の内松竹
(201)3720

新宿京王2
(356)3518

連日 11:00 1:00 3:00 5:00 7:00 連日 11:00 1:00 3:00 5:00 7:00